

### 3 国語じてんの使い方①

学年
組
名前

① 国語じてんで、前に出ている言葉の方に、○をつけましょう。

- ① ( ) あさ ( ) ひる
- ② ( ) あめ ( ) あさ
- ③ ( ) つめ ( ) こめ
- ④ ( ) あさがお
- ⑤ ( ) あさひ
- ( ) がっこう
- ( ) かっこう

② 国語じてんに出ている順番を書きましょう。

- ① ( ) すな
- ( ) いし
- ( ) いわ
- ② ( ) かめ
- ( ) かわ
- ( ) かい
- ③ ( ) ねんぎ
- ( ) ねこやなぎ
- ( ) ね
- ④ ( ) しゃしん
- ( ) しゃかい
- ( ) しょうかい

③ 国語じてんに出ている形になおしましょう。

(例) 手紙を書いた。

「書く」

① ジュースをのんだ。

「のんだ」

② 道にまよってしまった。

「まよってしまった」

③ 荷物が重くて、とても持てない。

「重くて、とても持てない」

④ 海はとても遠かった。

「とても遠かった」

⑤ その日の朝は、とてもすずしかった。

「とてもすずしかった」

### 3 国語じてんの使い方②

学年
組
名前

① 「」のことばを国語じてんで調べ、の文と同じみで使われている文に○をつけましょう。

① 「たずねる」

交番で駅えきの場所ばしょをたずねる。

( ) 友だちの家をたずねる。  
( ) けっせきの理由りゆうを電話でたずねる。

② 「あやまる」

あやまって、ガラスをわってしまった。

( ) 友だちにあやまる。  
( ) 地図のかき方をあやまる。

③ 「やぶる」

しあいで強いてきをやぶる。

( ) しょうじをやぶる。  
( ) 強ごう校をやぶる。

④ 「のる」

車くるまにのってでかける。

( ) 新聞に記事きじがのる。  
( ) 馬うまにのるのが楽しみだ。

② 正しい漢字に○をつけましょう。

① 戸をあける(開ける・明ける)。  
② 本をかえす(帰す・返す)。  
③ 顔があからむ(赤らむ・明らむ)。